



柏床よしおの
よっしー通信

2024年4月 14号

発行 柏床由夫後援会
神石高原町油木乙23番地2 TEL(0847-82-2022)
<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>
Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

3月定例議会は、3月4日から21日まで開会され、令和5年度各種会計補正予算、条例改正、令和6年度各種会計予算、教育長の人事案など102議案を審議し、全議案、原案可決しました。

令和5年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億2820万円を減額し総額127億4774万円(万円止め)となりした。主な内訳は、地方交付税6573万円、基金繰入3257万円の増額。減額は、町税8054万円などとなっています。

【新規事業】
役場油木支所改修事業 (1億3977万円)
こども家庭センター経費 (933万円)
旧油木百彩館改修事業 (7044万円)
高血圧重症化予防事業 (1617万円)

【拡充事業】
生活交通機関確保事業 (9421万円)
有害鳥獣駆除対策事業 (6309万円)
小・中・高校教育支援事業 (5012万円)
町単独神石高原町こども医療費負担事業 (2249万円)
仙養ヶ原森林公園整備 (6234万円)
などです。

【3月議会】

令和6年度 総額 159億674万円

一般会計予算 116億4500万円

(前年比 ▲3億7500万円)

病院事業会計 5億3213万円

(前年比 8834万円)

令和6年度一般会計予算は、総務費と農林水産業費、土木費が増額となったものの、民生費と衛生費、教育費が減額となり、一般会計は、昨年比3億7500万円(3.1%)の減となっています。

病院事業会計は、病院宿舍の改修工事費の計上などにより前年比8834万円(7.8%)の増となっています。

一般会計の主な新規事業などは、次のとおりです。

带状疱疹ワクチン接種費用助成事業 (118万円)

畜産クラスター事業 (1482万円)

小学校改修事業(2校分) (2256万円)

保育所運営事務経費(ICT) (176万円)

保育所本物体験事業 (180万円)

町内小学校・新入生及び全校児童数

2024年(令和6年) 4月1日

学校名	新入生	全校児童
油木小学校	9	54
神石小学校	8	44
来見小学校	3	54
三和小学校	16	104
豊松小学校	2	16
小学校合計	38	272

町内中学校・新入生及び全校生徒数

2024年(令和6年) 4月1日

学校名	新入生	全校生徒
神石高原中学校	20	58
三和中学校	33	104
中学校合計	53	162

出生数

暦年

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
25	35	28	24	21

2024年度(令和6年) 予算総括表 単位:万円

会計名	予算額	前年増減
一般会計	116億4500	▲ 3億7500
特別会計	国民健康保険	11億6800 2億2950
	後期高齢者医療	4億80 1290
	介護保険	18億2100 ▲ 4690
	飲料水供給事業	3380 ▲ 790
	農業集落排水事業	0 ▲ 2億1780
	総合開発事業	0 ▲ 1320
	分収育林事業	10 10
	計	34億2370 ▲ 4330
公営企業会計	病院事業	5億3213 3834
	農業集落排水事業	3億591 3億591
	8億3804 3億4425	
合計	159億674	▲ 7404



柏床議員の一般質問

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策の新年
度対応は。

答 外部の専門職員を配
置する。

柏床 令和6年度からの
(一社)広島県鳥獣対策等
地域支援機構からの専門員
常駐制度について、導入経
過、制度、常駐人数、仕事
内容、常駐日数、期間につ
いて詳しい説明を。

町長 鳥獣被害対策は、
「鳥獣による農林水産業等
に係る被害の防止のための
特別措置に関する法律」に
よる、市町が主体となり取
組むこととなっている。

担当職員の定期異動など
により、被害地域に対して
指導できる技術の蓄積を図
りにくく、積極的な地域へ
の働きかけなど、戦略的な
対策の展開が難しい状況に
なっている。

さらに市町境に関係なく
移動、拡大する鳥獣もある
中、その対策を市町ごとに
実施するだけでは、野生鳥
獣被害を劇的に改善するこ
とは難しいのが現状だ。

そこで、令和4年9月、
広島県が主体となり、市町
と連携しながら県域で効果
的な鳥獣被害対策に取り組
む中間支援組織、(一社)
広島県鳥獣対策等地域支援
機構を設立した。令和6年
4月からは参画する市町に
それぞれ駐在拠点を設置し
高度な技術力を有し、広域
的な視点を持つ専門職員1
名が常駐活動する。

仕事内容は、被害状況や
被害対策の事態と成果を把
握し、効果的持続可能な対
策を十分に検討し、侵入防
止や環境改善、加害個体の



(侵入防止柵は欠かせない)

捕獲など、具体的な鳥獣被
害対策の指導や支援を行う
予定である。常駐日数につ
いては週5日、月曜日から
金曜日までの予定である。
期間には、1年ごとの更
新となる。

柏床 令和6年度に844万円
計上してあるが、正規職員
で、専門職員を育成する考
えは。

副町長 正規職員で担当に
つくると、人事異動で習得し
た技術を、新たな職員に引
き継ぐことができないため
今すぐに職員を配置するこ
とは考えていない。

柏床 有害鳥獣対策の地域
おこし協力隊2名の内、1
名は1月に途中除隊、1名
は3月末で任期満了。残念
なことに町外へ転出となっ
たが、新たに地域おこし協
力隊員を採用して、専門員
から技術習得をして、定住
して活動してもらう考えは
ないのか。

町長 令和6年度で協力隊
の募集はしていないが、派
遣された専門員とともに活
動して技術習得をしてもら
い本町で活動してもらう可
能性はあると思う。

柏床 町内の事情や地理を
把握されている猟友会の方
を育成するなどの、計画的
に人材を育成する考えは。

町長 集落支援員制度もあ
るので、検討しながら計画
的に技術の習得ができるの
か、どういう形でその人の
生活が確保できるのか考え
ていきたい。

柏床 神石高原町鳥獣被害
防止計画に、人材育成も盛
り込むべきでは。

産業課長 この計画は3年
に1回見直しを行うもので
次回の令和8年度で見直し
を検討する。

柏床 専門員の仕事内容は。
産業課長 町被害の実態把
握のための調査を行い、グ
ールマップに登録する作
業を行う。

具体は、モデル集落を指
定して、被害状況、侵入防
止策の設置状況、捕獲状況、
周辺の環境などの踏査結果
をマップ化する。

このほか、被害防止対策
の講習会、捕獲講習会の開
催、住民主体の集落点検実
施の登録の業務を行う。

モデル集落以外では、特に
対策が必要と思われる集落
への指導を行う。

住民からの通報の対応は、
役場職員か専門員が対応す
る。

柏床 専門員と町の係わり
は。

産業課長 町の担当者と連
携をとりながら業務を予定
している。

神石高原町鳥獣被害防止計画

問 生息環境管理が課題

となつているが取り組みは。

答 土地所有者で管理いただきたい。

柏床Ⅱ神石高原町鳥獣被害防止計画の生息環境管理の取り組みについて、高齢化が進む本町では課題も多いと思うが、取り組みをどのように進めるのか。

町長Ⅱ課題と対策については、有害鳥獣対策は「個体管理」と「侵入防止」の大きく分けて2つの対策がある。

個体管理については神石高原町有害鳥獣捕獲対策実施隊員と連携しながら有害鳥獣の駆除を行ってきている。

平成16年に約130頭だったイノシシの駆除頭数は令和4年には約1600

頭となつているが、それでも被害は軽減できていない。

やはり駆除、つまり「個体管理」だけでは限界があると考えている。

同時に「侵入防止」策を行うことで効果、成果が上がると考えている。

この「侵入防止」策については主体は耕作者となり、自分の農地、資産は自分で守る。この「自衛」と「駆除」が両輪で回ってこそ、被害額の軽減につながるべくものであると考える。



(捕獲されたイノシシ)

そのため、広島県鳥獣対策等地域支援機構いわゆる中間支援組織による町内の柵設置の総点検。正しく設置されているか侵入されるような隙間がないかなどの点検、改善策の周知、及び効率的な防除策の周知に努めて行く。

また、それらの費用負担軽減のため、電柵補助などを引き続き行って行く。

繰り返しになるが、行政としては、これまでと同様に対策を講じていくが、この「侵入防止」策については所有者が「自分の農地、資産は自分で守る。」という視点を持ってもらうことが重要である。

この強い意志のもと、行動していただかないと、被害はなくなるらない。その手助けができるよう中間支援組織と共にしっかりと支援していきたいと考えている。

柏床Ⅱ有害鳥獣による農作物の被害額等はどの様に把握しているのか。

産業課長Ⅱ被害額は、農業

共済からの資料で、広島県独自の計算式で被害額を算出している。

柏床Ⅱイノシシの生息地調査は行っているのか。

産業課長Ⅱイノシシの生息地調査は行っていない。

柏床Ⅱ役場の有害鳥獣捕獲入力システムの、メッシュ地図番号の入力で、ある程度の生息状況が把握できるのでは。

産業課長Ⅱ現在、データを抽出してマップ化は行っていない。今後、中間支援組織の力も借りながらマップ化も今後検討したい。

柏床Ⅱ神石高原町鳥獣被害防止計画（令和5年度版）

の今後の取り組み方針に、生息環境管理が示されているが、住民自身で対策を行うとあるが、高齢農家では荒廃地の草刈り、荒廃林地、放任果樹の伐採活動を行うことは困難で作付けをやめる高齢農家も出てくると思うが、町の見解は。

産業課長Ⅱ高齢者の方は、耕作放棄地や放任果樹の管

理は大変難しいと考える。その中で、中間支援組織の業務内容にある集落内の現地踏査を行ってもらい、周辺環境の調査をする業務もある。その結果を踏まえながら、集落単位での取り組み必要性の指導や助言を専任者からもらいながら、また、中山間直接支払いや多面的取り組みの制度も活用しながら地域ぐるみで行ってもらいたい。

地域で難しい場合は、農村RMO制度もある。その制度も推進しながら生息地環境管理の取り組みを行って行きたいと考えている。

柏床Ⅱ今後、イノシシの個体管理調査や生息調査を行うのか。

産業課長Ⅱ有害鳥獣の被害面積、被害額を減少させるには個体管理調査は必要と考えているので、今後、検討したい。



2024年度（令和6年度）新規事業及び継続事業

（主なもの）

事業名	規・継	事業内容	予算額	担当課
農林産物販売促進施設管理運営経費 (旧油木百彩館改修事業)	新規	旧油木百彩館の新たな運営に向けた施設整備 旧店舗改修工事・施設備品・委託費	7044万円	産業課
子ども家庭センター経費	新規	家庭や学校に居場所のない児童等に対し、居場所となる場所を開設し、児童及び家庭への支援を包括的に提供	933万円	子育て応援課
保育所運営事務経費	新規	保育所・教育施設向け業務支援システム（ICT化）を5保育所へ導入	176万円	子育て応援課
障害者就労継続支援施設等通所奨励金支給事業	新規	就労継続支援施設等に通所する在宅の障害者への奨励金給付事業	237万円	福祉課
高血圧重症化予防事業	新規	民間事業者のノウハウを活用した重症化予防事業	1617万円	健康衛生課
予防接種事業	新規	带状疱疹ワクチン任意接種経費を一部助成 対象50歳以上	118万円	健康衛生課
油木支所庁舎管理経費	新規	油木支所改修工事・支所庁舎管理 1式	1億3977万円	総務課
小学校校舎施設管理経費	継続	油木小学校大規模改修工事基本設計 三和小学校通学路路面改修工事測量設計費	2256万円	教育課
社会資本整備総合交付金事業	継続	町道宇賀線 3578万円 町道日の郷線 1026万円 町道時安線(2工区) 4060万円		建設課
単独町道整備事業	新規	町道出佐線 300万円 町道父賀線 700万円 町道宮地間谷線 300万円 県道三和油木線(安田) 3340万円		建設課
	継続	町道市場野田丸線 2000万円 町道有元高水池線 2500万円 町道上組城江線 2000万円 町道黒木桑木線 5000万円		建設課
子育て支援	新規	ピロリ菌検査・除菌助成 対象：中学生		健康衛生課
	新規	高等学校等入学祝金 10万円 対象：町内在住者 ※高等専門学校を含む		子育て応援課
	新規	高等学校等卒業祝金 5万円 対象：町内在住者 ※高等専門学校を含む		子育て応援課
	新規	保育料完全無料化 ※認定こども園も対象		子育て応援課
	新規	乳幼児医療 0歳～6歳まで（1日500円）⇒負担なし		福祉課
	新規	こども医療 18歳まで（1日500円）⇒高校卒業まで負担なし 対象：町内在住者・町外から油木高校へ通学する者		福祉課
	新規	ティアガルテン入園料無料化 対象：町内在住の小中学生以下		産業課

※今号の議会を終えてのコラム欄は、紙面の都合でお休みします。